

飯田高校同窓会報



吉沢先輩が逝去されたので、副会長の私が選ばれて後任会長をお受けしました。早いもので今年で二十二年になります。

戦時中は工場廻間で使われていたために、校舎も大分荒廃していたが、物資不足と県の財政も貧弱なため復旧も思うに任せなかつた状態だった。が毎年県の予算づけをして貰つて階段、床の補修が行われた。また室内の照明が不完全なため

ルックスの低い部分があるため、これが解消につとめた。創立五十周年、六十周年、七十周年と記念事業を行なって、校内の改善に努力によって成し遂げる

行なって、校内の改善に努めな

年、七十周年と記念事業を

簿の作製（七十周年再び刊行）新体育館の建設、そし

ことが出来たので各委員に

補修、補強、慰靈碑の建立

天体観測室、ドームの設置

出来ました。その都度建設

委員会を設置し、各委員の

ご努力によって成し遂げる

礼申上げます。

かくて七十周年記念事業

も完遂され、漸く肩の荷が

降りたような、ホツとした

気分です。今後はよりよい

飯田高校の校舎が充実され

ることを念願する次第であ

ります。

同窓会長辞任して

西沢 寛志



て今回の校舎建設に至るまで、五十周年、六十周年、七十周年、と三期にわたつて、同窓生、PTA、特志家等のご援助を得て、これ

は心から感謝している次第であります。特にご報告申上げたいのは、尚志社が解散するに当つて、その全財産を県に寄附せられ、飯田

で、五十周年、六十周年、

七十年、と三期にわたつて、同窓生、PTA、特志家等のご援助を得て、これ

は心から感謝している次第であります。特にご報告申

上げたいのは、尚志社が解散するに当つて、その全財

産を県に寄附せられ、飯田

で、五十周年、六十周年、

御紹介のよう私は昭和十五年に飯田中学を卒業後、ほとんど当地に足を踏入れておりませんので、よきチャンスと母校懐しさ半分でもってやって参りました。非常にアツブ・ツー・ダイタな話になってしまい職業柄立場上微妙な点もあり、多少ばかしてお話しせざるを得ないことを御承知おき願いたい。

40) 50年前産業革命を完成して以来、世界中でもっとも進んだ資本主義国であります。農村人口4%以下で、従つて消費食料の半分以上が輸入で、また労働組合が横断的で労働慣行が強く日本からみると全く非能率的であります。これも歴史的因縁で、これらの現象に支えられて完全雇傭になって慢性的労働力不足を生じ、これが原因で成長を促す余力なく、失業率2~3%で生産必然的に伴うわけで、それに対する労組の恒常的な生産性の伸びが極めて悪い。資本主義は多少物価の上昇を必然的に伴うわけで、それすれば国際收支の壁にぶつかるわけで、私の赴任当時あり、従がって成長政策にその限界に達していたわけです。労働党内閣はボンドでボンドをあくまで守ると宣言していましたが、客観的状勢から対ドル相場が過大評価されており、切り下げる遠因には成熟した資本主義の持つ宿命の現われであり、

何か明治の日本を見る思ひが致して文明の繋りをしばしば感じたわけです。それと英國社会の階級性ですが我々の接するのは中産階級で実態はわかりませんがハイ・ソサエティーはあるようだ。日本では社会の流動性があり、一定の学歴や資格をとりさえすれば何にでもなれる、世界でも珍らしい国ですが、英國では代々何々だという話は皆様お聞きの通りです。タクシーに乗っても六・七〇才台の運転手は珍らしくなく職業に安定感があり一面からいえば流動性のなさが経済成長を阻む一因からと思ひます。それに学校制度に階級性が現存しております、わゆる金持階級とそうでない者の学校とに顯然たる区別があり、多少労働党内閣になって変化したが、尚社会的抵抗が根強くあるようです。

さて、一週間前ドル・シヨツク、ニクソン声明があり課徵金、金とドルの交換

外資保有高百十五億ドルがあり政府の財政支出、個人消費など様々われますが、沙ル・ショツクが覆い被さり手がなくそこへドルの取引

題以前から不況期にあつたわけで、昨年一〇月以降引きで、本の景気そのものはこの間に關せず問題がたいへん難かしいと思います。現在日本の景気そのものはこの間に縮めがあり、効果が浸透して来ているわけです。今回の緩慢期は過去の何回かに比べやや違った感じであります。秋になれば回復するかどうかではなくて、戦後一貫して成長して來た日本経済が大きな曲り角にさしかかりかではなくて、今後10何%という成長は切れないし、景気停滞、緩慢等を基調に問題解決をしなければならず、加えてドル・ショツクが覆い被さり日本経済の成長を先導して来た設備投資がおこらず、沙

(旧) 鹿田中学校初代
校長島地五六先生。

いつた意味でなしに。

ける勇気がなく、つい
の儘払わず仕舞になつて

木下祐次

生活雜感

9回卒 片桐 文秀

回の成長のあつた神武景氣
でありましたが、それでも
西ドイツに比べ経済の底が
浅いと云われました。

さて、私が四年前在勤したロンドンでの生活にふれますと、四十三年秋にボンド切り下げがありました。翌年の三月ゴールドラツシユがあり第一時金騰貴が発生して、一オーンス35ドルが45ドルになり金市場閉鎖と二重価格制がとられました。引き続きフランスのフラン切り下げが噂にのぼりE E Cの会議で各国から迫られ出席の大蔵大臣がやむなしとパリに帰った所、ドゴールが「ノン」と云つて世界中を驚かせましたが、結局翌年八月突然に切り下され、通貨問題はあるようでないような波の繰り返しで、こんな点を現在のドル問題をごらんになる場合の参考にしていただきたい。次にマルクで一昨年突然に戦後第二回目の切り上げがおきロンドン在勤中通貨問題が尽したほどでした。印象深かったのはボンド切り下げで、その遠因を述べますと、英國は戦後国民の耐乏生活の上に輸出第一にやって来ましたが、根本的に経済の弱さがあり今盛期は第一戦まででそれ以後一貫して斜陽化しているわけです。英國が駄目になったのではなく、資本主義が追うものの立場で成熟していくところに堪えきれないと云うことです。すでに浅いと云われました。

昭和64年度同窓会定期総会講演

第20页

けてほしいのですが、公害等の陰路が出て来、これをどう調和させ人間らしい生活をやるまでにもって行くにはどうしたらよいか難問の期にさしかかったといえます。英國の農村はたいへんきれいで有名ですが、農村人口は四%であつて、畑はどこまでも耕され、津畠として荒れ果てた感じもなく、こんなに少ない人口でどうしてあのような美しい田園風景を保ちうるのだろうかと疑問に思いましたが、これも永年の蓄積に伴なう農村の隅々までに行き渡つた生活の豊かさ、ゆとりが大きくなっていると、思います。日本が西欧の水準に近くにはあとどのくらいかかるのか、技術は別としてもまだまだ油断出来ず、警ぶべき面も多くある気が歎します。

私は早速実行に及んだ。さて、昼の時間に形勢如何にと見渡すと、なんと、みんな何事もなかつたかのように、アルミの弁当箱をつづいているではないか。アテがはづれたのは私一人であったが、すぐ止めるのも面子にかかるると、このひとりぼっちの馬鹿正直弁当を一年も続けたであろうか。これで五年間頑張り通すようならば、私もすこしはマシな人間になつていたかも知れない。もちろん俗世の榮達などと仰しゃつた。

拒否すべしという過激派も現れ、私も実はその一人であった。

今年六月亡くなられた日夏耿之介先生からお聽きもし、また書いてもいられるが、飯田中学在学一年で、青雲の志を抱いて上京されるに当って、日夏少年の懇請を容れて頑強に反対される御両親の説得に当られたのは、外ならぬ島地先生であつたのである。篇実重厚君子人の風貌の裡に、人を識り、時世を見るの明を藏していられたことは、この一事で察することが出来よう。

(因みに、御令室は昨年お亡くなりになつたが、敬虔な基督者であられた。市内中央通一大和屋スポーツ店主島地宥氏は、先生の御末子である。

「参加について」

回想と問題提起

横田
盛庄

私が飯田高校へ入学したのは昭和二十年であるから丁度第二次大戦の終幕も近い頃であった。白線が一本入った帽子をかぶり喜び勇んで登校した私の最初の印象は、グラウンドに広がる芋畠と、強そうな先輩がバツクネットの辺で見せていた柔道と、教室を抜いてやっていた軍需工場であった。勤労奉仕と真似事の軍事教練の生活の中で、喧々がくがく日本の将来を語り英語学習の是非を論じ、あるいは特攻隊にあこがれたりした当時は、全く純真そのものであった。六年間の高松原での学生生活は、スタートがスタートであっただけに、以来正に変化の連続であった。戦後の教育改革、工場から教室への転換中学から高校への切替えなど数え挙げれば限りがない位だ。しかし今振り返って見ると本当に素晴らしい六年間であったと思う。充実した青春の日々であったと思ふ。物質的な貧しさを苦痛に感じない明朗な若さがみ

なぎついていたと思う。特に変化に挑戦しつつ培われた温い友情、人間と人間との触れ合い、先生と生徒との尊敬と信頼の関係など、想いおこすだけでも懐しい。

私達は戦後の混乱期に丁度巡り合わせ、困難に直面しながらも学生は学生なりに自主的にものを考え、仲間と一緒に方向を探り合い進んで参加することによつて新しい時代への対応力を養うことが出来たのである。幸せな時代というべきであろう。

卒業後二十年…全く早いもので私の子供も中学生になつた。そして昭和生れが七千七百万人、しかも戦後生れが四千五百万人という具合に、一時代も二時代も過ぎ去ってしまった。日本の新しい時代を創造する主役は、既に若い世代に移つたことをしみじみと感じるのである。

物と心の豊かさが調和するような共同社会（コミュニティ）を、真剣に考え方創造することによつて、日本

の民主主義を立派に定着させる責任は、私達昭和生れの若者にあることを強く自覚するのである。

しかしながら、現実はどうであろうか、平和に酔いしつけてしまつたのか、過保護を常とした生活に問題があつたのかは別として、兎も角期待に応えるべき若者のあり方に一抹の不安の念を禁じ得ないのである。

その不安の根源の一つに参加に対する意識と態度があると思う。参加せずして無責任な批判だけを行なう評論家型、参加もしないし意見もいわない、人生に向うともなく向い困難は總て避けて通ろうとする無気力逃避型、傍観型、参加はするし意見もいうが建設と調和を忘れた破壊者型など悲しむべき参加意識であり態度であるといえよう。

戦後の混乱期にすら存在した自主的な参加が、何故安定した豊かな社会に存在しないのであらうか。世界の中ではよいよ一人立ちをして行かなくてはならない

ある。最近の若者は困ったものだなどと責任のなすり合いをして、もともうになるものではない。まず昭和一桁の若者である私達が、どちらかといえば遠ざかって、いた年中組、年少組の方へもっと目を向け、共に手を携えていく姿勢を示さねばならない。変化と混乱の中に素晴らしい青春時代を見出して来た私達が、混沌の現代に悩む若者達に、正しい参加について語りかけて行かねばならない。若者には、若者同志の共通性があり、必ずや理解し合えると思う。

夢でなかつたかと、うす
れた記憶力に疑いを持つ
てもみるが、いや、この
目でたしかに見たのであ
る。

不羈奔放のご性格その
儘の先生の授業は、縦横
無碍の型にはまらぬ面白
さがあり、私どもをぐん
ぐん引っぱって行つた。
時々入れる相の手が、ま
た端ゲイを許さぬものが
あつた。

「道鏡はなア：アハツ
ハツハツ。お前たちもい
まに分る」とばかり二年
坊主の私どもをケムに券
き、ケロリとして山羊罠

「こんどの試験で百点は木下だけだつたな」と嬉しがらせてもらつたこともある。かと思うと、ある時質問したら「木下お前は質問しとるのか。それともワシを叱りつけておるのか」とビシヤリと痛烈な一撃を食わされた。

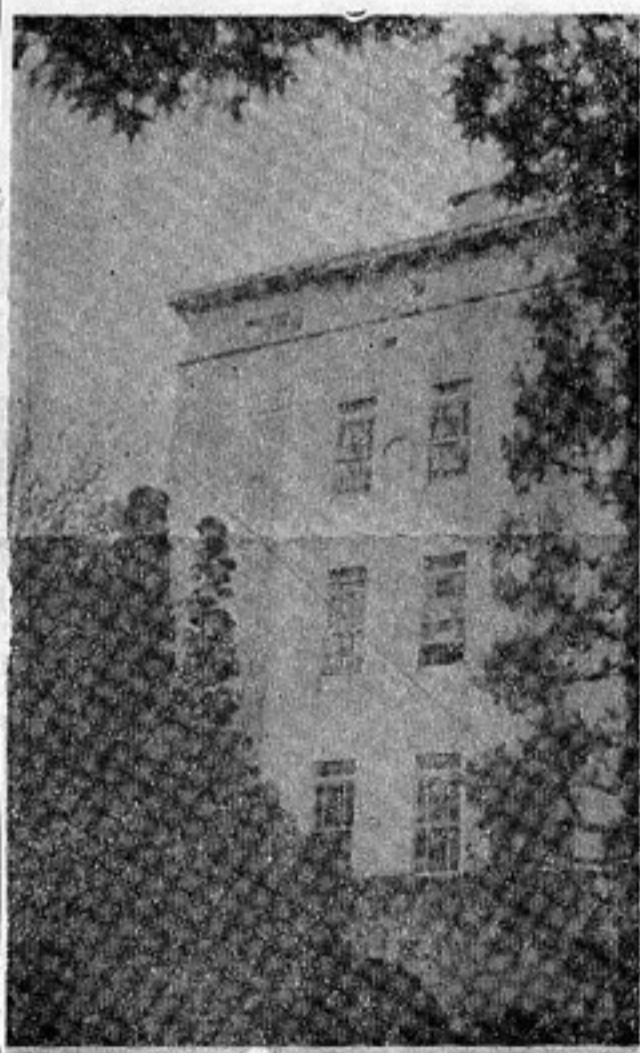
明治四十四年三月に先生は飯田を去られたが、大正何年頃であつたか、その学殖を買われて、時の内務大臣床次竹次郎氏の文書の秘書に起用せられたと承る。

晩年京都のお住居で、

我が国の、今日を担い明日

(五ページから)

をしごく。「ケンダリシ 興に乗じて口にせられる



飯田高校正面玄関

同窓会支部だより

「ハマ」からの高松便り

日本貿易は横浜港は、信州伊那の生糸で夜明けを迎えたのです。

横浜港の主要輸出品目で

ある話題の織維・古い貿易商では天竜社や双竜社を、

なつかし気に話に出すが、

伊那又は、旧上田蚕糸出身

を知らぬ三世たちかも、浜

っ子船頭・漁師の村を国際

港に仕立て上げたのは、実

は信州の血であったノダノ

ともあれ四年ぶり、本年

一月二十三日夕、横浜はイ

ザキ町入口、本拠キヤバ

レー・オリソビック「つた

家」に集合した信州南都の

最高学府に学んだ老若五十

二名の面々は、特別出演の

林母校々長・熊谷同窓会事

務局長を交えて、オスノと

カヤアとか、結局飯田時間

定刻?に飯田中・高校神奈

川横浜地区同窓会を開催し

たのでした。

幹事三石孝之先輩（中島

感謝の拍手、ありがとうございました。若者たちに拍手。

田忠先輩（中39飯田）と語り、昭和二十七年以来八回に及ぶ同窓会を計画・運営してきました。特別な取り決めもないまま、福島大先輩を会長と呼び、三石・代田先輩を幹事として、衆目の認められた天竜の如く流れ過ぎて来た訳です。

集まれば途端に時は失せ

あり、前回まで欠かさず出席され、お元気に校歌唱和

された会長・福島（牧野）

近況報告があり、さて懇親

新三郎大先輩（中2喬木）

が、その後数ヶ月を経ずし

て七十八才の天寿を全うさ

れた由聞き驚き、常にこ

やかで、多年横浜で内科・

小児科医院を開業していら

れた大先輩の冥福を祈ると

共に、柱を失った四年間の

下商事を設立し、名実とも

幹事先輩の御苦労を想いま

した。

三石先輩が、福島医院長

統いて新会長に井深功大

秀才たち。
「君は屋上から小便したのか?俺もだ」

「GSって何ですか?」

「男女共学になり、最近

は教科書の解説だけで、運

動部は規制されて……先輩

達の頃は良かったンですね

第三十九回同級会便り

い／＼在学時代に帰り思
出話に花が咲き出席され
いた諸兄の近況等を聞かせて
戴き同級会とは良きものな
りと感無量でした。最後に
飯田高校校歌を声高らかに
合唱し、お互の健康と今後
の活躍を祈り万才三唱、再
会を約し盛会裏に午後五時
半散会いたしました。

そして恒例の校歌、応援歌
などリクエストがあり、繰り返えし、野球部

まり、縁起よく、

片桐文秀君より便
りがあり誠に懐しい時間を
過ごすことが出来近来にない
楽しい日でした。

なお、片桐文秀君より便
りがあり誠に懐しい時間を
過ごすことが出来近来にない
楽しい日でした。

歌、勝利曲のおさらひが始
まり、歌と勝利曲が始
めました。

高松健児よ、伊那の縁、
風の中でもたくましく、悩み
と祈りつつ。

お会いした諸兄とは三十
年の年月を越えてへだて無
くお話することができ、今
更ながら少年時代の交友と
は良きものと思つて居ります。

同級会の皆々様、同級
生の諸兄に大変お世話様に
なり感謝に堪えません何卒
異々も宣敷くとの事御報告

申上げます。

お会いした諸兄とは三十
年の年月を越えてへだて無
くお話することができ、今
更ながら少年時代の交友と
は良きものと思つて居ります。

同級会の皆々様、同級
生の諸兄に大変お世話様に
なり感謝に堪えません何卒
異々も宣敷くとの事御報告

申上げます。

お会いした諸兄とは三十
年の年月を越えてへだて無
くお話することができ、今
更ながら少年時代の交友と
は良きものと思つて居ります。

同級会の皆々様、同級
生の諸兄に大変お世話様に
なり感謝に堪えません何卒
異々も宣敷くとの事御報告

申上げます。

お会いした諸兄とは三十
年の年月を越えてへだて無
くお話することができ、今
更ながら少年時代の交友と
は良きものと思つて居ります。

同級会の皆々様、同級
生の諸兄に大変お世話様に
なり感謝に堪えません何卒
異々も宣敷くとの事御報告

申上げます。

お会いした諸兄とは三十
年の年月を越えてへだて無
くお話することができ、今
更ながら少年時代の交友と
は良きものと思つて居ります。

お会いした諸兄とは三十
年の年月を越えてへだて無
くお話することができ、今
更ながら少年時代の交友と
は良きものと思つて居ります。



第三十九回同級会便り

八月二十二日（日）四十
六年度飯田高校同窓会開催

別講演をされるため来飯さ
れることになり、吾等三十
九年同級生で歓迎会を開催

いたしました。

日時 八月二十一日（土）
午後三時
場所 大宮温泉
出席者 同窓会より
中島賢治郎会長
松下逸雄副会長
守屋校長先生 上条教
頭先生 矢沢先生 宮内先生
同級生 片桐文秀君、熊谷先生

酒宴に入り飲む程に酔ふ程

に卒業以来三十三年振りに

対面する諸兄もあり和気あ

りと感無量でした。

幹事三石孝之先輩（中島

感謝の拍手、ありがとうございました。若者たちに拍手。

松川支部から

正規の名称というものはありませんが強いといえば飯田高等学校同窓会松川支部でもいうもので、ようか。この会の出来たのは町村合併に依る松川町ができた時という事になります。

しかし発生は遙かに旧く大島村でいうと明治末期とい

角六十余年続いてきました。当時は飯田中学校という名で校舎も長距離にあった頃

今年も九月五日に開かれました。集まつた者二十七番で奔走するという方法で

当町では地区を四カ所に分けてその一が巡回りの当番で奔走するという方法で

以上簡単に当地の状況御報告申上げます。

名、現在の飯田高校の校長先生、同窓会事務局の熊谷さんも参加され盛会でした。

移り名も高松高校、飯田高

校と推移してもずっと続い

てきました。年に一度の

会合でも曾つて同じ学び舍

に学んだという心のつながりは現在迄も及んでいます

「赤石山は巍々として」と

昔をなつかしむ心に結ばれ

て血の流れのような間柄を

感じ合って来たのでした。

今年も九月五日に開かれ

ました。集まつた者二十七

番で奔走するという方法で

夕闇迫るころでした。猶名

惜しく去りやらず尽きぬ

話に夢中の人々で実に愉し

い集いでした。

当町では地区を四カ所に

分けてその一が巡回りの当

番で奔走するという方法で

例の「赤石山」を全員で合

唱して万歳にしたのはもう

歌えだれもが一様にその

昔をなつかしむ心に結ばれ

て血の流れのような間柄を

感じ合って来たのでした。

今年も九月五日に開かれ

ました。集まつた者二十七

番で奔走するという方法で

夕闇迫るころでした。猶名

惜しく去りやらず尽きぬ

話に夢中の人々で実に愉し

い集いでした。

当町では地区を四カ所に

分けてその一が巡回りの当

番で奔走するという方法で

例の「赤石山」を全員で合

唱して万歳にしたのはもう

歌えだれもが一様にその

昔をなつかしむ心に結ばれ

て血の流れのような間柄を

感じ合って来たのでした。

今年も九月五日に開かれ

ました。集まつた者二十七

番で奔走するという方法で

夕闇迫るころでした。猶名

惜しく去りやらず尽きぬ

話に夢中の人々で実に愉し

い集いでした。

当町では地区を四カ所に

分けてその一が巡回りの当

番で奔走するという方法で

例の「赤石山」を全員で合

唱して万歳にしたのはもう

歌えだれもが一様にその

昔をなつかしむ心に結ばれ

て血の流れのような間柄を

感じ合って来たのでした。

今年も九月五日に開かれ

ました。集まつた者二十七

番で奔走するという方法で

夕闇迫るころでした。猶名

惜しく去りやらず尽きぬ

話に夢中の人々で実に愉し

い集いでした。

当町では地区を四カ所に

分けてその一が巡回りの当

番で奔走するという方法で

例の「赤石山」を全員で合

唱して万歳にしたのはもう

歌えだれもが一様にその

昔をなつかしむ心に結ばれ

て血の流れのような間柄を

感じ合って来たのでした。

今年も九月五日に開かれ

ました。集まつた者二十七

番で奔走するという方法で

夕闇迫るころでした。猶名

惜しく去りやらず尽きぬ

話に夢中の人々で実に愉し

い集いでした。

当町では地区を四カ所に

分けてその一が巡回りの当

番で奔走するという方法で

例の「赤石山」を全員で合

唱して万歳にしたのはもう

歌えだれもが一様にその

昔をなつかしむ心に結ばれ

て血の流れのような間柄を

感じ合って来たのでした。

今年も九月五日に開かれ

ました。集まつた者二十七

番で奔走するという方法で

夕闇迫るころでした。猶名

惜しく去りやらず尽きぬ

話に夢中の人々で実に愉し

い集いでした。

当町では地区を四カ所に

分けてその一が巡回りの当

番で奔走するという方法で

例の「赤石山」を全員で合

唱して万歳にしたのはもう

歌えだれもが一様にその

昔をなつかしむ心に結ばれ

て血の流れのような間柄を

感じ合って来たのでした。

今年も九月五日に開かれ

ました。集まつた者二十七

番で奔走するという方法で

夕闇迫るころでした。猶名

惜しく去りやらず尽きぬ

話に夢中の人々で実に愉し

い集いでした。

当町では地区を四カ所に

分けてその一が巡回りの当

番で奔走するという方法で

例の「赤石山」を全員で合

唱して万歳にしたのはもう

歌えだれもが一様にその

昔をなつかしむ心に結ばれ

て血の流れのような間柄を

感じ合って来たのでした。

今年も九月五日に開かれ

ました。集まつた者二十七

番で奔走するという方法で

夕闇迫るころでした。猶名

惜しく去りやらず尽きぬ

話に夢中の人々で実に愉し

い集いでした。

当町では地区を四カ所に

分けてその一が巡回りの当

番で奔走するという方法で

例の「赤石山」を全員で合

唱して万歳にしたのはもう

歌えだれもが一様にその

昔をなつかしむ心に結ばれ

て血の流れのような間柄を

感じ合って来たのでした。

今年も九月五日に開かれ

ました。集まつた者二十七

番で奔走するという方法で

夕闇迫るころでした。猶名

惜しく去りやらず尽きぬ

話に夢中の人々で実に愉し

い集いでした。

当町では地区を四カ所に

分けてその一が巡回りの当

番で奔走するという方法で

例の「赤石山」を全員で合

唱して万歳にしたのはもう

歌えだれもが一様にその

昔をなつかしむ心に結ばれ

て血の流れのような間柄を

感じ合って来たのでした。

今年も九月五日に開かれ

ました。集まつた者二十七

番で奔走するという方法で

夕闇迫るころでした。猶名

惜しく去りやらず尽きぬ

話に夢中の人々で実に愉し

い集いでした。

当町では地区を四カ所に

分けてその一が巡回りの当

番で奔走するという方法で

例の「赤石山」を全員で合

九ページより
来てからのおせりである。
何んでもよいから、資料に

なり得るもの

を出来るだけ
保存しておいていただきたいと同時に、至急その資料を受入れる態勢を事務局で

は深くなければ、秋の
暮れましたよ」。「しかし
「ばかに訂正や抹消があり
ますねえ」。この説明は個々に事情が異なる「これは内訳がないのでそっくり建設資金としたのですが今年度になつて名簿代と会費が含まれていることが判明したものです」。

「これは回期の記入がなかたための姓名同名の誤りです」。「これは名簿に見当らないのでさんざん調査の結果父親の名前であったことが判明しましたので訂正」、等等、事務局のまごついた記録でもある「この人をさがすのに名簿の端から調べた上で問い合わせたのでお願いします。目下やり繰りが苦しくなつておりますので年内にお願いします。二年分合計一、〇〇〇円送って下さっても

せざるよう評議員の方に
お願いします。

皆様方からニュース、こぼれ話等なんでも結構ですか。又同窓生の作品、図画等御贈下されば永く保存したいと思います。新館の開業に立派な同窓会資料室ができる、事務局もおかげで御活躍のことと思いま

ます。どうか移動の際は御

お願いを建築のこともあるおそれとなりました。趣意書と送金用紙をお届けします。

連絡下さるよう願います。

三号を送るはこびとなり

ました。編集委員も毎年か

わり、毎年できるかぎり編

集に変化をもたせてと念願

していますが、不慣れなた

め不備の点が多いのではないかと思います。同窓生と

同窓生、学校と同窓生、支

部と支部などお互いに最近

の様子を知りながらより深

めに気をきかせて送金した

がうかり自分の名を書い

たためにとんだ迷惑をかけ

たと詫び状が来ましたよ、

頬を赤らめた顔が見えるよ

うですね」。

建設資金未納の方に今後お

ますよ、新妻が夫の多忙の

中にはユニークなものもあり

ます。住所不明のため、

あります。一口三千円で

お願いします。

建設資金未納の方に今後お

ますよ、新妻が夫の多忙の

中にはユニークなものもあり

ます。住所不明のため、